

事務事業名	コード1	3300	インターネット活用事業	事業種別	<input type="checkbox"/> 国土強靱化地域計画	課	企画政策課				
	コード2				<input type="checkbox"/> 新市建設計画	所属班	情報管理班				
施策体系	施策	25	広報・広聴・情報公開の充実	事業種別	<input type="checkbox"/> 総合戦略	電話番号	55-2665	内線			
	施策の展開	48	広報広聴活動の推進		<input type="checkbox"/> 復興計画	予算科目	会計		款	項	目
				<input type="checkbox"/> 定住自立圏構想	<input type="checkbox"/> 行政改革アクションプラン	根拠法令			2	1	7
				<input type="checkbox"/> 主要事業	<input checked="" type="checkbox"/> 簡易評価	旭市インターネットサービス運用管理要綱					

1 現状把握(Do)

(1) 事業概要

① 事業期間	② 事業の内容 ※何をどのようにする事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input checked="" type="checkbox"/> 平成 17 年度～ <input type="checkbox"/> 開始年度不詳 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで ※全体像を記述→	ホームページの内容については秘書広報課広報広聴班が担当 以下、企画政策課で所管している事務について記述する インターネット上で行政情報を発信している「ホームページ旭」の外部公開用サーバーの管理 コンテンツマネジメントシステム(以下CMSという)による各ページの作成・編集・削除など各課作業の支援 CMSで作成できないページ(暮らしの便利帳など)の作成・編集 セキュリティ対策 【業務の流れ】 CMSで編集できないページの場合 (1)新規 ページ作成の要望 → 秘書広報課の承認 → ページ作成 (2)修正 各課からホームページ修正の依頼 → 秘書広報課の承認 → ホームページ修正

(2) トータルコスト

① 費目の内訳(26年度の実績)		単位:千円
1.委託料	2,441	ホームページ保守業務委託料 ほか
2.通信運搬費	107	インターネット接続料
3.賃借料	389	インターネットサーバー賃借料
② 特定財源の内訳(26年度の実績)		単位:千円
1.国庫支出金		
2.都道府県支出金		
3.地方債		
4.その他	2,937	
前年度比増減理由:		
③ 延べ業務時間の内訳(26年度の実績)		単位:時間
情報管理班による作業 ページ修正 約300ページ×1時間 300時間		
ページ作成 約30ページ×10時間 300時間 研修 20時間		
各課のCMSによるページ修正 約500ページ×2時間 1,000時間		

事業費	費目内訳	単位	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(計画)
	1.委託料	千円	3,119	1,344	2,441	1,937
財源	2.通信運搬費	千円	103	104	107	107
	3.賃借料	千円	378	378	389	389
	事業費計(A)	千円	3,600	1,826	2,937	2,433
	1.国庫支出金	千円				
	2.都道府県支出金	千円				
人件費	3.地方債	千円				
	4.その他	千円				
	5.一般財源	千円	3,600	1,826	2,937	2,433
	正規職員従事人数	人	0.80	0.80	0.80	0.80
	延べ業務時間	時間	1,620	1,620	1,620	1,620
人件費計(B)		千円	6,156	6,156	6,156	6,156
トータルコスト(A)+(B)		千円	9,756	7,982	9,093	8,589

(3) 事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段	① 主な活動	⇒	⑤ 活動指標名	単位	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(計画)
	26年度実績(26年度に行った主な活動) ページの作成 ページの作成支援 CMSのバージョンアップ		ア ホームページ作成数	ページ	50	30	30	30
	27年度計画(27年度に計画している主な活動) 一部スマートフォン用ページの作成		イ 情報管理班ホームページ修正数	ページ	300	300	300	300
目的	② 対象(誰、何を対象にしているのか)	⇒	⑥ 対象指標名	単位	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(計画)
	③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	⇒	⑦ 成果指標名(考え方)	単位	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(計画)
	④ さらに、どんな上位目的に結び付けるのか	⇒	⑧ 上位成果指標名(考え方)	単位	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(計画)

(4) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 開始したきっかけは何か?どんな経緯で始まったか?	② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか?開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったか?	③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
市の情報を国内外に向けアピールする。地域に密着した情報を提供する。観光イベント情報を発信する。	アクセスする端末がパソコン中心からスマートフォンへ変化している。	ホームページが読みにくい(必要な情報が見つけづらい)、情報の掲載が遅い、委託費は適切な額か、等。

2 評価(Check1)担当者による事後評価

目的 妥当性 評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の目的は市の施策体系に結びつくか？意図することが上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷
	② 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷
	③ 行政関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して実施すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷
有効性 評価	④ 成果の現状水準 あるべき水準や目標に達しているか？近隣市や類似団体と比較してどうか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷
	⑤ 成果の向上余地 次年度以降の成果向上が期待できるか？事務事業を取り巻く環境変化等を考慮するかどうか？成果の向上余地はどの程度あるか？	<input type="checkbox"/> 活動量を増やせば成果は向上する ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 活動量を増やさなくても、やり方を工夫することで成果は向上する ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 活動量を増やしたり、活動を工夫したりしても、今以上成果は向上しない ⇒【理由】↷
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業の他(民間・国県を含む)に方法があるか？ ↓ 他に手段がある場合 (1)具体的にはどのような事務事業か？ (2)類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (1) 事務事業名：() <input type="checkbox"/> 統廃合ができる ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 連携ができる ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 既に統廃合・連携している ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(表面トータルコストの事業費部分) 事業費を削減できないか？(経費の精査、過剰仕様の適正化、回数削減、住民の協力、アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ <small>委託料等は最低限の金額である。金額を減らすためには、CMSを廃止し職員の手作業でページを作成する必要があるが、各課で修正案を作成→秘書広報課に確認→情報管理班に依頼→各課で確認の作業を紙ベースで行うことになり、即時性が失われる。セキュリティ対策については上を見ればきりがなく、どの程度のリスクを許容するか検討しながら対応する。</small>
	⑧ 人件費の削減余地(表面トータルコストの人件費部分) やり方の工夫(業務プロセスの改善など)や臨時職員の活用・委託により、正規職員の延べ業務時間を削減できないか？	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ <small>人件費は最低限の金額である。情報管理班が作成するページが減れば、情報管理班の人件費は下がるが、その分各課で作成することになるので、各課の人件費が増えることになり、トータルコストは変わらないか、慣れていない職員が作業する場合、余分に時間がかかり、コスト増の要因となる。</small>
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷

3 評価(Check2)担当課長による評価結果と総括

(1)1次評価者としての評価結果		(2)全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	情報管理班では契約や技術的な業務を担当しており、各課のサポートをしている。 依頼のあったホームページの作成等は遅滞なく行われている。 ホームページの更新は各課によるところが大きいことから、引き続き、操作研修などを行い、各課職員の能力向上に努める。
② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(Plan)

(1)今後の事業の方向性(複数選択可) ※2~3年後を目処にした方向性		(3)改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善による成果向上 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善による事業費削減 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携(関連事業：) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善による延べ業務時間削減 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化																						
(2)改革改善案について ※いつまでに、なにを、どうするのか？		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
					コスト																		
		削減	維持	増加																			
成果	向上		○																				
	維持																						
	低下																						
いつまでに	いつまでに																						
平成27年度	一部ページのスマートフォン対応																						
(4)改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																							
①アクセスする端末の多様化(パソコン・携帯電話・スマートフォン・タブレットなど) 一部端末については対応をあらかじめ、パソコン用ページを使用する。 ②セキュリティ対策 ホームページの改ざん等が内容対策を講じる 解決策についてはここには記載しない。																							